

##### ★下校時刻の30分繰り上げ

朝の会~1時間目 移動時間(5分間)・昼休み(5分間)  
清掃~帰りの会 移動時間(5分間)・部活動(15分間)

→生徒アンケートなどで生徒の声を大切に。

今年度の大会結果は、短縮前より良い結果となった。

→「効率の良い練習の効果」について伝えていく。

##### ★部活動 1名指導体制の徹底

主顧問・副顧問で指導日分担

指導しない日は職員室で業務→退勤時刻(16:40)で退勤

##### ★水曜日部活動および放課後活動停止(昨年度3学期)

##### ★職員朝礼 週3回に削減

##### ★学校だよりや職員会議資料 ペーパーレス化

##### ★事務職員との連携と協力

○学級費の取り扱い

集金・支払いルールを示し、担任の負担軽減

○文書管理 データと紙文書で分類ルール統一※町全体  
探す時間、処理する時間の削減

##### ★アンケート調査のICT化 Googleフォーム活用

##### ★時間外在校等時間の平均値見える化

毎月示すことで、一人ひとりが意識を高める  
R5は、まずは50時間を超えないよう意識

## 「子どもたちと向き合う時間」確保のための工夫

VOL.1でも取り上げた通り、令和5年度のテーマは「子どもたちと向き合う時間」と「教職員のゆとり」作りです。子どもたちと向き合う方法をさらに検討するためにどのようにゆとりを作るか…様々な視点から取り組んでいる学校のお話を伺いました。

### キーワード:チーム力とコミュニケーション

#### 敦賀市立敦賀西小学校

《学校経営のテーマとGGKのポイント》

「みんなの手を止めない・足を止めない」ということを大切に、会議等の見直しに着手され、年度ごとにステップアップしてきています。

「子どもたちと向き合う時間」は、直接関わる時間以外も重要であるとして、十分に教材研究ができるよう、放課後のゆとりを生み出しています。

HOP!

R3「そろえる」  
“会議の見直し”

STEP!

R4「つながる」  
“コミュニケーション”  
“自己働き方改革”

JUMP!

R5「ひろがる」  
“子供と向き合う時間”  
“教職員のゆとり”

#### 職員間コミュニケーション

自由な相互コミュニケーションを重視

- ★職員終礼(週1回) 10分程度・必要に応じて実施
- ★職員会議(月1回) 1時間以内(勤務時間内に終了)  
会議は「協議」を重視・主任会の廃止  
共有は校務支援システムを活用・決裁のスピード化
- ★校内研修:親睦を深められる工夫をして実施

単学級の学年もあり、協力し合える関係が重要  
あたたかい人間関係が作られている

#### 時程の工夫

児童にも教職員にもゆとりが生まれる工夫

##### ★行事用時程

→例)水泳学習時程:着替えの時間、次の授業への影響を考慮  
40分授業 午前5コマ



##### ★朝学習モジュール化による授業時数カウント

1回15分:国語・算数 3日分で1コマカウント

##### ★金曜時程(大休み・清掃カット)

#### 行事の見直しと保護者・地域の協力

児童の安心・安全、地域で育てていく

- ★マラソン大会 コースの見直し→陸上競技場へ  
周回コースは交通量の多い幹線道路もあり危険だった  
安全に走行・観戦できる環境で実施
- ★体育大会  
練習時間は最大6時間「限られた時間でできることを！」  
石拾い、テント準備、杭うち等 保護者が協力  
午前中に競技完了→給食後下校
- ★約100名の見守り隊 連絡アプリも徐々に活用  
児童の祖父母や民生委員、自治会の方等

従前から保護者・地域のボランティアが積極的な風土  
図書、水泳、学年行事、清掃等に多くの保護者が関わっている  
オープンスクールの日以外も“開かれた学校”

##### 他にも…

- ・平日18:00留守電切り替え(市教委で設定)
- ・保護者連絡(欠席連絡・おたより)デジタル化(C4th Home&School)  
体温報告機能を水泳学習に活用
- ・学校運営支援員の活用工夫  
業務の事前依頼制“お願いしたいことシート”  
→教員本人も見直しをもって仕事を進めるきっかけに

## STEP 2 : 効率的・効果的な研究の実践

### ①教員をグループ分け(学期ごと再編成)

グループ	氏名	公開時期	研究テーマ	項目番号
3	A先生	7月上旬	考え方を表現し合い…	8
2	B先生	6月上旬	対話的な学び~自分と相手の…	8,9
2	C先生	6月下旬	生徒の特性や…	6
1	D先生			
1	E先生	5月中旬	思いや意図をもって…	8
3	F先生			
2	G先生	6月下旬	生徒が多面的に考察し…	9
1	H先生			
3	I先生	7月上旬	協働的な学びを通して自己の…	8

嶺南教育事務所が作成している「授業づくりシート」の振り返り  
項目と合わせている。町の研究会・自校の研究会で統一させる  
ことで、つながりを持たせることが可能。

### ②小グループによる授業研究

5/15(火)4限 3-2  
グループでの話し合い  
が活発に行われていた

参観者は青付箋(大)を持参→記入後は授業者へ  
生徒の様子(良いところ)を見取って記録

自信をもって発表して  
いて素敵でした。○○○

生徒へのメッセージを記入  
→授業者が次回授業で生徒に伝える

### ③事後研究会を実施(放課後30分)

- 30分で完了する研究会プログラムで実施  
16:40までに終わることが可能
- 短時間で集中して研究会を実施
- 付箋を色分けして意見等を出し合う  
青:よかった点 赤:課題・改善点  
黄:「おだい」(授業の改善点)に対する考え 等

#### 生徒の学びを見取る



### \*編集後記\*

前号VOL.11の「勝山中部中学校」の時間割・PTの取組について、「標準時数に対し不足が発生するのではないか?」とのご質問を頂きました。5校時までは行事準備等で授業時間を使用することが無く年間を通じて安定して授業を行えること、そして毎日のPT(5分×6コマ分=30分)の中で各教科の補充学習も行うことで未履修になることなく、子どもたちの学びを保証することができています。ご質問をお寄せいただき、ありがとうございます。これまでの記事につきましても、どうぞ皆様ご質問もお寄せください!

次号 VOL.13も  
お楽しみに!

